

乳がん術前化学療法によるバイオマーカー変化 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2018年7月10日～2019年3月31日

〔研究課題〕

乳がん術前化学療法によるバイオマーカー変化に関する探索的研究

〔研究目的〕

乳がん術前化学療法の前後におけるバイオマーカーの変化と予後との関連性について解析する。

〔研究意義〕

乳がん治療では、エストロゲン受容体(ER)、プロゲステロン受容体(PgR)、HER2 タンパク、Ki-67(増殖マーカー)などのバイオマーカーが、ホルモン療法や化学療法などの治療方針決定ための重要な因子となっています。術前に化学療法を行った場合、これらのバイオマーカーが変化することがしばしば報告されています。しかし、バイオマーカーの変化がその後の治療に及ぼす影響や再発率や生存率予後との関連性については明確になっておりません。そこで、本研究では、化学療法前後でのバイオマーカー発現の変化率や予後との関連を解析することを目的としております。

〔対象・研究方法〕

当院にて当院にて2005年1月1日～2018年1月31日に乳がんの術前化学療法を受けられた方を対象に、診療録の情報から化学療法前の針生検検体と手術検体のバイオマーカー発現の変化を調べ、予後との関連を解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部 外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

全ての情報は匿名化した上で使用します。患者様の個人名などの個人情報は切り離してあり、個人情報は保護されます。この研究の結果は、学会や論文で発表されることはありますが、患者様の名前や病状は一切公表されることはなく、プライバシーは保護されます。

〔その他〕 (健康保険・謝金等について、必要に応じて記載する。)

術前化学療法は健康保険の範囲内で行われるもので、研究により新たな費用は発生致しません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

神野 浩光 帝京大学医学部 外科学講座 教授

松本 暁子 帝京大学医学部 外科学講座 助手

梅本 靖子 帝京大学医学部 外科学講座 シニアレジデント

住所:東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 33702]